

2011年12月22日
柏市
国立大学法人 東京大学
国立大学法人 千葉大学
三井不動産株式会社
スマートシティ企画株式会社
柏の葉アーバンデザインセンター
TXアントレプレナーパートナーズ

公民学が連携して街づくりを進める「柏の葉キャンパス」
新成長戦略の柱となる「環境未来都市」の対象地域として内閣府より選定
～スマートシティ、健康長寿都市、新産業創造都市の実現に向けた街づくりを政府が全面的に支援～

柏市は「環境未来都市」に対して、6 組織（国立大学法人東京大学、国立大学法人千葉大学、三井不動産株式会社、スマートシティ企画株式会社、柏の葉アーバンデザインセンター、TX アントレプレナーパートナーズ）と共同で提案申請を行っていましたが、2011年12月22日、内閣総理大臣より当申請が採択され、柏の葉キャンパスを中心とする柏市全域が対象地域として指定を受けました。

「環境未来都市」は、政府の掲げる新成長戦略に基づき創設された制度であり、環境・超高齢化対応に向けて世界に誇る先進的な都市をつくるために、指定地域に対して国が集中的に財政支援や規制の特例措置などを実施するものです。今般、「環境未来都市」として柏市を含む全国 11 地域が指定されました。

柏の葉キャンパスでは、「世界の未来像をつくる街」をコンセプトに、現代の複雑化した社会的課題に対する解決モデルを街づくりを通じて世界に提示する都市の実現を目指しています。今回の環境未来都市においては、「公民学連携による自律した都市経営」をテーマとして、環境・エネルギー問題に対する「スマートシティ」、超高齢化社会に対する「健康長寿都市」、持続的な都市経営・日本経済再生を担う「新産業創造都市」という 3 つの課題解決モデルを軸に据え、その実現に向けた新たな取り組みと、必要となる規制緩和や税制措置、財政支援などを複合的に提案しました。

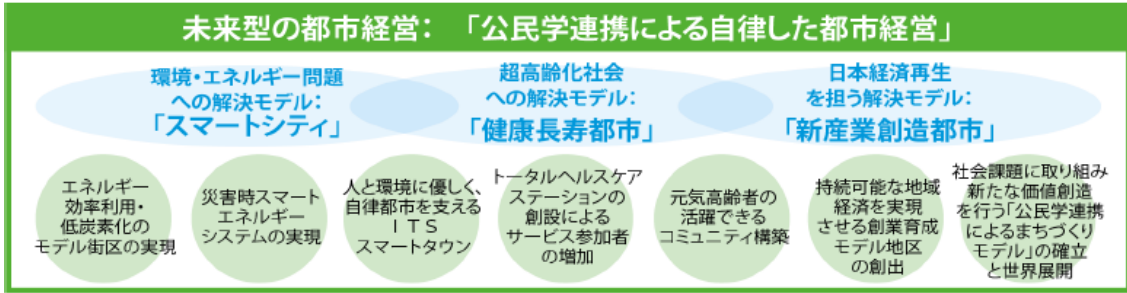
「スマートシティ」としては、地域での自然・未利用エネルギーの発電・蓄電、街区間電力融通、エネルギー見える化による住民参画型の省エネ活動などにより、地域で自律的に環境・エネルギー問題を克服する災害に強いコミュニティづくりを目指します。

「健康長寿都市」としては、疾病予防・介護予防サービスを包括的に提供する「トータルヘルスケアステーション」を創設し、地域の高齢者にリハビリテーション・口腔ケア・栄養指導・訪問ケアを行うとともに、元気な高齢者には「市民健康サポーター」として地域の健康サービスに貢献できるよう育成講座を開設し、地域住民が自律的にイキイキとした暮らしを支えあうコミュニティづくりを目指します。

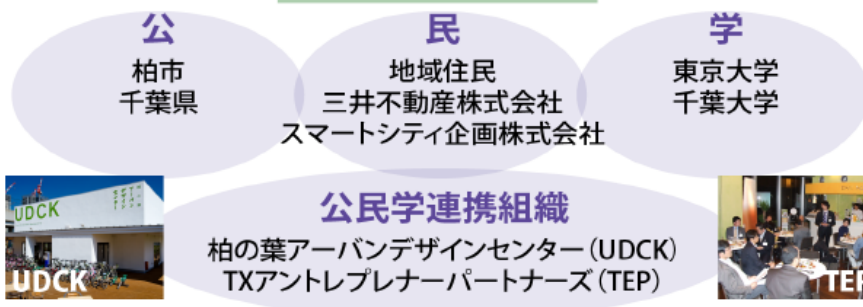
「新産業創造都市」としては、大学・研究機関発ベンチャーへの総合的支援やローカルルールに基づくエリアマネジメントにより、地域が自律的に新産業と雇用を創出する、賑わいのある都市空間の実現を目指します。

今後は、これらの提案内容を公民学が連携して着実に推進するとともに、世界の未来像となる街づくりモデルとして、その成果を全国へ、アジアへ、世界へと普及・展開していくことを目指し、取り組みを加速させていきます。

<柏の葉キャンパスの提案全体像>



共創する持続可能な仕組み “CO-CREATE ECO-SYSTEM”



<柏の葉キャンパスの未来像イメージ>



<柏の葉キャンパスのシンボルマーク>



<柏の葉キャンパスにおける取り組みの詳細>

「環境未来都市」提案申請書：<http://futurecity.rro.go.jp/teiansyo/kashiwanoha1.pdf>

「柏の葉キャンパス」街づくり紹介サイト：<http://www.city.kashiwa.lg.jp/kashiwanoha/>